



①郷土館の旧平賀邸前では大正ロマン着物ユニット「キノノヤン」などが音楽ライブを披露②東谷オリジナルお土産の「からみの刻」は製錬工程で出る鉱滓、通称「からみ」をイメージして作られた③イベント当初から開催される講談師の玉田玉秀齋さんの東谷歴史講談④平野神社の「殺陣」のパフォーマンスでは来場者を巻き込み、盛り上がりを見せた⑤授賞式は6月15日に東京で開催された



東谷ズムの開催やまち歩きコースを整備 東谷を盛り上げる市民力

地域活性化に取り組むヒガシタニズム実行委員会
国土交通大臣表彰の「まちづくり功労者」を受賞

大正時代の東谷によみがえらせる

かつて多田銀銅山の製錬で繁栄した東谷地区。大正の頃には、銀行や証券会社、芝居小屋、ダンスホールなどが立ち並び、華やかな時代を迎えていたといわれています。

6月3日、「ヒガシタニズム実行委員会」が同地区に位置する郷土館とその一帯で「東谷ズム」を開催。当日は約1,200人が来場しました。

このイベントのテーマは「大正ロマンリバイバル」。大正時代のにぎやかさを再現しようと、住民有志をはじめ、自治会、消防団、寺社、商工会、能勢電鉄、郷土館スタッフ、地域内外から集まった「東谷ズムサポーターズ」などが協力し、このイベントが実現しています。

7回目を迎える今回は、グルメや手作り雑貨などが並ぶ「サトヤマルシェ」、アコーディオンの生演奏の音楽ライブなどを開催。また、今年初の試みとして、東谷中学校美術部の生徒の指導で和菓子型抜きマグネット作りを実施。来場した子

市北部の東谷地区で地域活性化のために活動している「ヒガシタニズム実行委員会」。その功績が認められ、国土交通大臣表彰に選ばれました。先日開催された「東谷ズム」の様子を中心に、同委員会の活動について紹介します。

どもたちは、制作を楽しんでいました。

和菓子やまち歩きでにぎわいを創出

活動はイベント開催だけにとどまりません。2年前には地元の和菓子店と協力し、東谷オリジナルお土産の「からみの刻」を開発。同地区をPRするオリジナルキャラクター「すず」も作りました。また、獅子山の城跡や三十三所の観音石仏を見て回ることができるコースの整備や、郷土館への案内板の製作を通して、まちを体感してもらう工夫をしています。

その功績が認められ、「ヒガシタニズム実行委員会」は国土交通大臣表彰の「まちづくり功労者」に選出。郷土館を活用したイベントの開催、まち歩きマップの作成、隠れた歴史文化の発信などが認められ、今年6月に受賞しました。

同委員会の東さんは「東谷ズムは、住民や団体、事業者など多様な人たちが立場や特性を生かし合うことで、年々広がりを見せています。今まで関わってくれた全ての人、そして東谷のまちに対しての受賞だと思います」と話していました。

CHECK & QUIZ 次の空欄 (○の中) を埋めてください。

1：特集 “健幸” ○活始めませんか 2：○セラ川西プラザが9月25日から順次開館

クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法：市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)から必要事項を送信するか、ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、7月10日(火)(消印有効)までに〒666-8501・秘書広報課「クイズ」係へ。

※6月号の正解は(家)(20)で、84件の応募がありました。



5月末現在の人口

男……………75,068人 (-28)
女……………83,410人 (-8)
計……………158,478人 (-36)
世帯数…69,782世帯 (+45)